

マイナポータルAPIの現状と課題

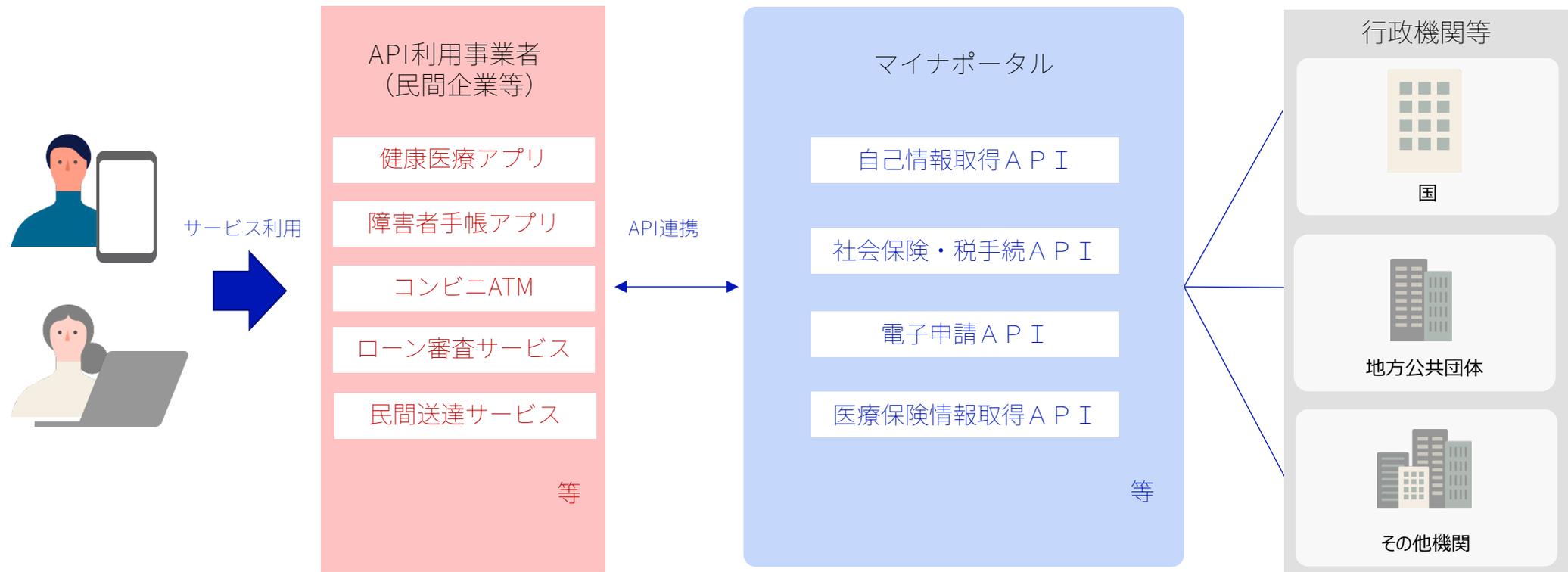
2025/04/24 デジタル庁国民向けサービスグループ

1. マイナポータルAPIの現状について

2. API利用拡大に係る検討課題について

マイナポータルAPIとは

マイナポータルで提供する機能を、サービス提供者が利用できるようAPIを提供することで、国民の様々なサービスにおけるデータ利用・利便性向上を推進

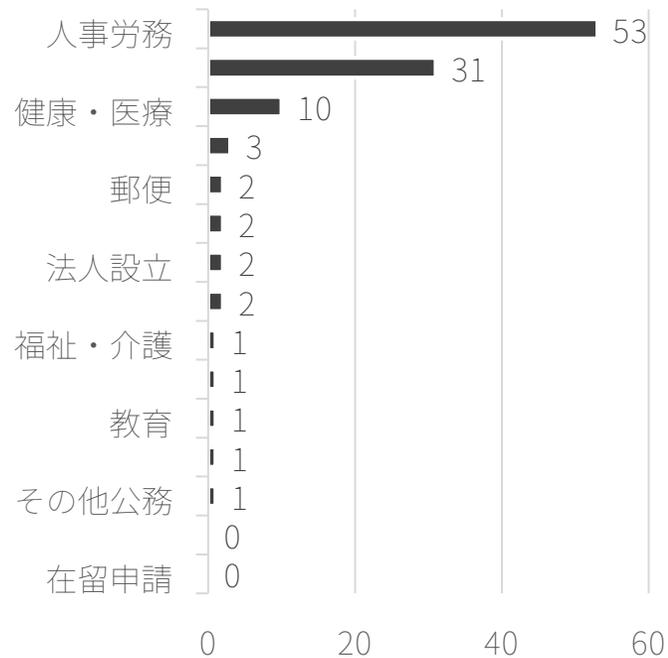


1. マイナポータルAPIの現状

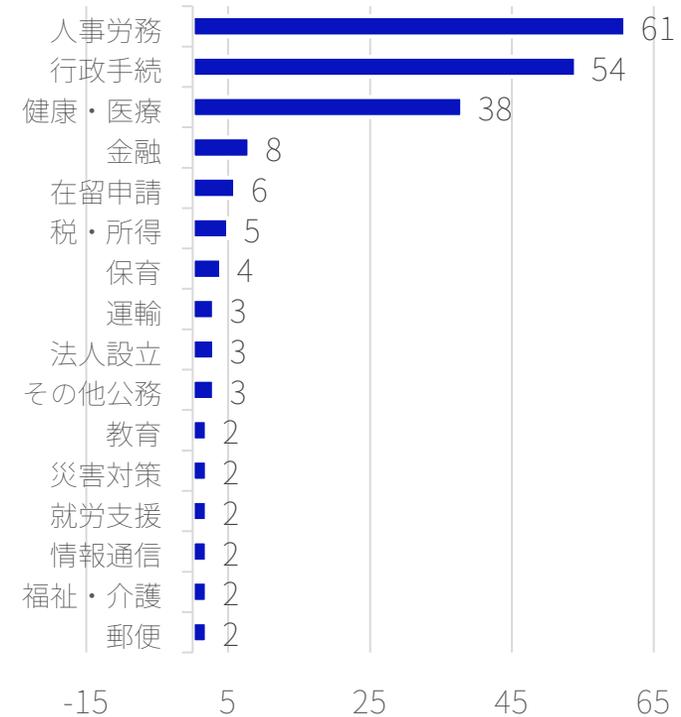
マイナポータルAPI利用の現状

- マイナポータルAPIを利用して民間企業等が提供しているサービスは197事業にのぼる
- また、利用可能なAPIについても、2024年度中に期間連携API、PMH情報連携API、診療情報APIをリリース予定であり、その他のAPIについても取得可能なデータの拡充を行っている（実施済み含む）

2023.3時点：110事業



2025.3時点：197事業



1. マイナポータルAPIの現状

マイナポータルAPIを用いた事業者サービス提供例

婚活サービス

- 婚活アプリ利用の際に戸籍情報を連携することで、自身の独身証明が可能に
- 利用API：自己情報取得API（戸籍関係情報）

ヘルスケア

- 薬剤情報等の連携により、お薬手帳用QRを読み込まなくともPHRデータが一元管理可能に
- 自動更新されたデータをもとに「服薬アラーム」などPUSH型の健康管理も可能に
- 利用API：医療保険情報API（薬剤・健診情報等）

障がい者福祉

- 交通チケットや有料道路の障がい者割引の適用について、障がい者手帳情報を連携することでオンライン上での手続を可能に
- 利用API：自己情報取得API（障がい者手帳情報）

人事労務

- 年末調整手続や所得税確定申告手続について、マイナポータルを活用して、控除証明書等の必要書類のデータを取得し、各種申告書への自動入力が可能に
- 利用API：民間送達接続API

ローン審査

- カードローン・クレジット審査の際、所得情報をマイナポータルを通じて提出することで、収入証明の取得・提出が不要に
- 利用データ：自己情報API（所得情報）

1. マイナポータルAPIの現状

提供中のマイナポータルAPI（計16件）

#	名称	取得可能データ
1	シングルサインオン	
2	民間送達接続	
3	自己情報取得	税・所得、年金、戸籍、雇用保険等、自治体が保有する各種情報
4	お知らせ情報取得	行政機関からのお知らせ
5	民間送達サービス保有 情報取得	
6	医療保険情報取得	医療費、薬剤、処方、調剤、健診結果、 診療 の情報 (オンライン資格確認等システム経由)
7	PMH情報連携	医療費助成、予防接種、母子保健情報 (Public medical Hub経由)

#	名称	取得可能データ
8	期間連携	#6の情報が90日間更新可能
9	法人設立手続等申請	
10	社会保険・税手続申請	
11	電子申請等	
12	電子申請等情報受取等	
13	健康保険証利用登録	
14	利用者登録等	
15	属性連携設定	
16	在留手続申請	

※青字=2024年度に提供開始したAPI

マイナポータルAPIの機能の拡大

- 2024年12月に医療保険情報APIについて、データを一定期間継続的に更新できる期間連携APIをリリース
- 本機能の活用により、一層PHR事業者によるPUSH型等の健康管理体験の創出が進むことを期待

期間連携の仕組み	マイナンバーカードをかざして本人が同意することにより、マイナポータルAPIから民間のサービスに連携されるデータについて、 <u>一定期間継続的に更新</u> できる仕組みとします。
セキュリティ対応	マイナポータルから払い出されるリフレッシュトークンについて、 ① Single Use（1回使い捨て）モデルとする、 ② 同意取り消しや不正利用検知の際の無効化を実装する、 ③ 事業者側で保管する際の暗号化を徹する、 ことで、データの漏洩防止及び漏洩時の影響範囲の最小化を図ります。 併せて、本人が確認・撤回しやすい同意画面の実装を事業者に求めることとしています。
一度の同意により連携可能とする期間	PHR事業者がプッシュ型サービスを提供する場合の体験水準と今回のセキュリティ対応でのリスクを考慮した合理的期間として、「 <u>90日間</u> 」といたします。
パフォーマンス（アクセス集中）への対応	1事業者あたりのtps（秒あたりアクセス要求）をポリシー上で制限し、この遵守を事業者にとともに、API基盤側においても事業者ごとの流量の上限制御を行う仕組みを実装します。



マイナポータルAPIの利用審査について

マイナポータルAPIの利用申請があった場合には、デジタル庁による審査を関係省庁と連携して実施し、承諾した事業者等のみに対してAPIの利用を開放

【主な審査観点】

主体適格性	形式的な要件に加えて、利用規約や利用ガイドラインの履行について責任を持てる主体かどうか	<ul style="list-style-type: none">• 利用規約等を踏まえて申請・審査に必要十分な情報を提出できているか• ユーザーへの問い合わせ対応やデジタル庁との連絡調整等に必要な体制を整備しているか 等
利用目的	政府が提供するAPIを經由して取得する国民のデータを利用して行うサービスとして適切なものであるか	<ul style="list-style-type: none">• 提供機能等に応じた取得情報となっているか• 利用目的として社会通念上の相当性が認められるものとなっているか• 申請対象となるAPIを用いないと提供できない付加価値機能があるか 等
法令順守	利用規約等に特に規定していないものであっても、必要な関係法令を把握し適切に対応しているかどうか	<ul style="list-style-type: none">• 提供するサービスに関連する法令を自ら把握し、これを遵守する対応を行っているか• 個人情報保護法を遵守していることはもとより、セキュリティ懸念やユーザーの誤認を生むような導線・設計となっていないか 等

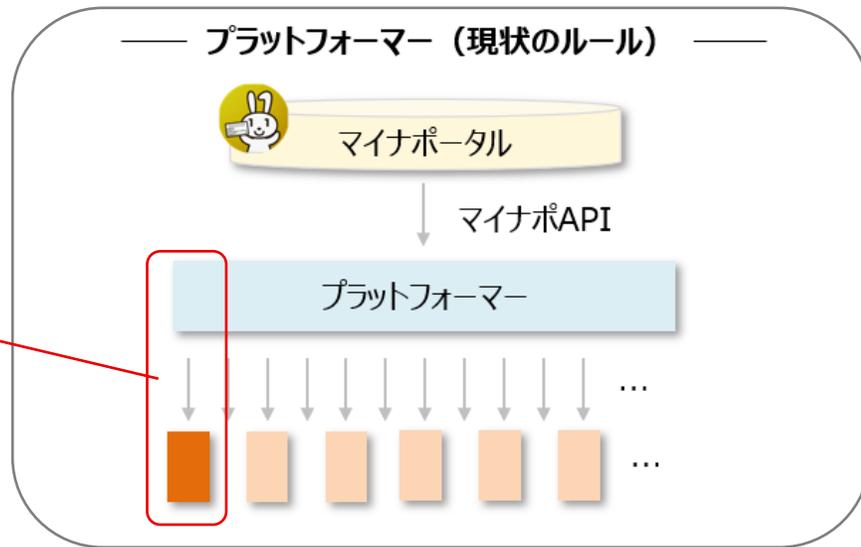
1. マイナポータルAPIの現状について
2. API利用拡大に係る検討課題について

2. API利用拡大に係る検討課題について

課題①：プラットフォームによるデータ流通について

- API利用では、利用目的を明確に審査対象としており、プラットフォーム型では利用者向けサービス提供者が増えるたびに審査をしている状況
- 他方で、(1)事業者サービス及びユーザー利便の拡大と、(2) 審査事務の効率化とサービスの適正性確保の両立といった観点から、改めて審査／ガバナンスのあり方について検討が必要

個別に利用目的
や主体適格性等
を確認し、デジ
タル庁にて審査



例えば、医療保険情報APIを利用する場合は、プラットフォーム経由でデータを利用する事業者が、いかに次の観点を遵守できるか（問題が生じた場合の説明責任を果たせるか）検討が必要

1)情報の利用目的の適格性

○例えば、もっぱら広告や私的な調査研究に勝手に使われないようにするためにどのような担保が必要か

2)主体適格性で求めている事項(PHR指針含む)の遵守状況

○現状はチェックシートを審査の上事業者に公表を求めているが、プラットフォームを挟んだ場合にはどのような運用が適切か

3)情報漏洩やインシデント発生時の対応

○プラットフォームが接続する事業者側でインシデント等が発生した場合の政府側の責任範囲をどう考えるか

2. API利用拡大に係る検討課題について

課題②：対象データ項目の拡大

- マイナポータルで利用可能なデータは年々拡大
- 特に、健康医療領域においては、電子カルテ情報の共有が始まるなど、医療DX改革の中で国民に還元するデータが増加
- マイナポータルAPI経由で民間事業者が活用可能となるデータ項目が増加するに従ってPHRアプリの機能拡充も想定されるところ、規制のあてはめが難しいものも増加してくることも想定される
- 審査／ガバナンス観点において留意すべき論点があるかどうか、改めて検討が必要ではないか



電子カルテ情報共有サービスで、医療機関間で共有・マイナポータルで閲覧できる項目

● 傷病名

既往症
現病名

● アレルギー情報

● 薬剤アレルギー情報

● 感染症情報

梅毒STS (RPR法)
梅毒TP抗体
HBs
HCV
HIV

● 処方情報

- ・ 院外処方だけでなく、院内処方

● 検査結果(救急、生活習慣病に必要な項目)

生化学的検査	血液学的検査
総蛋白 (TP)	血算-白血球数
アルブミン	血算-赤血球数
クレアチンキナーゼ (CK)	血算-ヘモグロビン
AST (GOT)	血算-ヘマトクリット
ALT (GPT)	血算-血小板数
LD (LDH)	活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT)
アルカリフォスファターゼ (ALP)	プロトロンビン時間
γ-GTP (GGT)	FDP
コリンエステラーゼ (ChE)	Dダイマー (DD)
アミラーゼ (AMY)	尿検査
クレアチニン (Cre)	尿蛋白
シスタチンC	尿糖
尿酸 (UA)	尿潜血
尿素窒素 (BUN)	蛋白/クレアチン比 (P/C比)
グルコース (血糖)	アルブミン/クレアチニン比 (A/C比)
HbA1c (NGSP)	内分泌学的検査
中性脂肪 (TG)	脳性Na利尿ペプチド (BNP)
総コレステロール (T-CHO)	ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント (NT-proBNP)
HDL-コレステロール (HDL-C)	免疫学的検査
LDL-コレステロール (LDL-C)	C反応性蛋白 (CRP)
ナトリウム (Na)	血液型-ABO
カリウム (K)	血液型-Rh
クロール (Cl)	
カルシウム (Ca)	
総ビリルビン (T-Bil)	
直接ビリルビン (D-Bil)	

● 診療情報提供書(医療機関間共有のみ)

- ・ いわゆる紹介状
- ・ 退院時サマリー

● 健診結果報告書

特定健診
後期高齢者健診
事業主健診
学校職員健診
そのほか健診

● 患者サマリー(マイナポータル閲覧のみ)

- ・ 療養上の計画、アドバイス